事務事業マネジメントシート（令和２年度目標設定）

事務事業No.	010401

事務事業名		財政管理事業費		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	総務部
総合計画体系	基本政策	6	市民参加と協働のまちづくり	課・室	財政課
	政策	07	持続可能な財政運営の推進	係	財政係
	施策	01	計画的な財政運営	内線電話	221
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	２款	総務費	未計上	
	項	１項	総務管理費	実施期間	
	目	７目	財政管理費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	市民	市民サービスの向上を図る。中野市の財政状況を把握してもらう。
現状・課題	市庁舎の建設等大型事業が進行中であり、また普通交付税の合併支援措置の段階的な縮減等により歳入の減少が見込まれるため、今後の予算編成は厳しくなる。	
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	地方財政法
事務事業概要	各部署の予算要求を取りまとめ、予算を編成し、予算を執行できるようにする。 決算関係の書類作成、数値の算定を行う。	

令和２年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	当初予算、補正予算の編成	５回
	予算書、主要施策概要説明書、決算概要及び主要政策成果説明書の作成	各１回
	財政推計の作成	１回
	決算統計、健全化判断比率の作成	各１回

事務事業コスト（インプット）	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和２年度
	予算額	当初予算	円	14,567,000	14,614,000	10,714,000
		補正・流用等	円			－
		合計	円	14,567,000	14,614,000	10,714,000
	決算（見込）額　A		円	14,233,412	14,600,000	－
	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円			
	R２は予算額	一般財源	円	14,233,412	14,600,000	10,714,000
	正規職員数		人	2.48	2.48	2.48
	人件費　B		円	15,956,320	15,976,160	15,976,160
	総事業費　A＋B		円	30,189,732	30,576,160	26,690,160
	市民１人当たりコスト		円	706	719	630

成果指標　アウトカム	方向		平成30年度		令和元年度		令和２年度	
広報なかのへの掲載	維持	目標	4	回	4	回	4	回
		成果	4	回	4	回	－	
実質公債費比率（標準財政規模に対する借入金返済額の割合）	維持	目標	7.3	%	4.8	%	4.3	%
		成果	5.7	%	5.8	%	－	
成果指標と目標値を設定した理由	実質公債費比率について、長期財政推計において算出した数値を目標としている。							

令和２年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する	
	実質公債費比率について、地方債の発行に国及び県の許可が必要となる18%以内を保持する。							

事務事業名	財政管理事業費	部・局	総務部
		課・室	財政課
		係	財政係

令和２年度　業務スケジュール

活動内容	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
当初予算、補正予算の編成	６月補正編成			９月補正編成			12月補正編成	当初予算編成		３月補正編成		
予算書、主要施策概要説明書、決算概要及び主要施策成果説明書の作成		主要施策成果説明書		決算概要				予算書、主要施策概要説明書				
財政推計の作成												
決算統計、健全化判断比率の作成			決算統計、健全化判断比率									